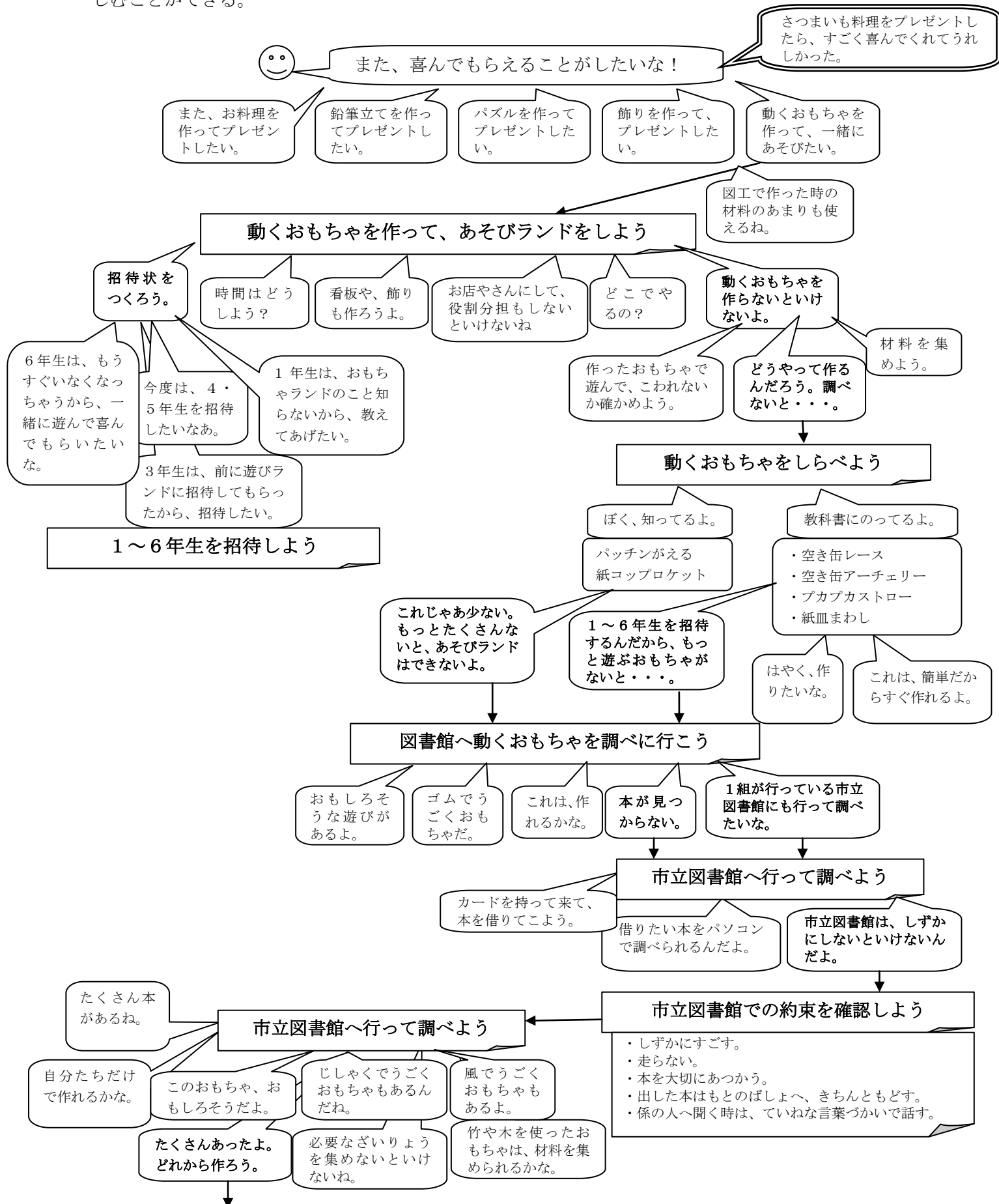


## 単元名 「うごく うごく わたしの おもちゃ」

### <単元目標>

- ・友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、自分なりに改良し、身近にあるものを使って動くおもちゃをつくることができる。
- ・動くおもちゃのおもしろさやふしぎさを実感するとともに、遊び方を工夫しながら、みんなで遊びを楽しむことができる。



調べたものを発表し、作るおもちゃを決めよう

グループで、作るおもちゃを決めて作ろう。

一人で作るのは心配だから、友だちと作りたい。

自分で作りたいものを作る。

どれも楽しそう。みんな作ってみて、遊んでから決めよう。

材料も集められる遊びじゃないと作れないよ。

うごくおもちゃを作って遊ぼう(+図工 2 時間)

ゴムでうごくおもちゃ

- よくとぶ円ばん
- わゴムでっぼう
- 空き缶アーチェリー
- 空き缶レース
- よたよたペンギン
- ゴムどうカヘリコプター

空気でうごくおもちゃ

- スキースラロームゲーム
- くるくるうさぎ
- のびるのびる
- ストローロケット
- ハエトリカエル
- 空気ピストル
- ストローあめんぼう

そのほか

- はみがきポート
- かさぶくろロケット
- 紙皿飛行機
- ハラハラドキドキドライブゲーム
- はっけよいかいじゅう大ずもう
- 紙皿まわし
- しゃくとり虫

もっと高く飛ばしたいな。

もっと速く走らせたいな。

他の人が作ったおもちゃも楽しそう。遊んでみたいな。

うまくできないな。友だちに教えてもらおう。

他のおもちゃも作りたいな。

これは、口をつけるものだから、あそびランドでは、やめた方がいいね。

みんなが作った動くおもちゃであそび、遊びランドでやるあそびを決めよう

このおもちゃなら、楽しんでもらえそうだね。

たくさん遊びに来たから大変だった。遊ぶときのルールを決めよう。

的を作って遊んだら、もっとおもしろそうだな。

コースを作って遊んでみよう。どんなコースがいいかな。

このおもちゃは、すぐ壊れたちゃうね。材料を変えたらもっと丈夫になりそうだよ。

みんなが楽しく遊べるように工夫をしよう(本時)

おもちゃを作れるコーナーを作って、自分の作ったおもちゃで遊んでもらう。

的に点数を書いて、100点に当たったら賞品をあげる。

壊れても大丈夫なように修理用の材料をおいておこう。

もっと速く走る、空き缶レースを作って、競争して遊べるようにしよう。

かざりをつけて、見た目も本物みたいにしよう。

よくとぶ円ばん

- 一ばんとんだ人チャンピオンを決める。
- 円ばんの大きさを変える。
- ゴムの本数を変える。

ストローアーチェリー

- 的を作って、点数を書く。
- しっかりとぶように、ストローの先の重りを取れないようにする。

よたよたペンギン

- しっかりとるように、ビー玉を固定する。
- コースを作って競争させる。

かさぶくろロケット

- 空気のを調節して、いろいろなロケットをつくる。
- 速くまでとぶチャンピオンを決める。

はえとりカエル

- ハエをたくさんつくって捕まえる遊びにする。
- ハエをしっかりとれるように作りなおす。

のびるのびる

- ふくろの長さを長くして、簡単にできないようにする。
- 何秒で膨らませられるか競争する。

紙コップロケット

- もっと高く飛ぶようにする。
- 目盛りを作って高く跳ぶロケットチャンピオンを決める。

スキースラロームゲーム

- しっかりとすべるように作りなおす。
- すべる台をもっと大きくして、みんなで競争できるようにする。

これで、楽しんでもらえるかな。心配・・・。

早くみんなに遊んでもらいたいな。

他のグループはどんな工夫をしたのかな。

考えた遊び方やルールをみんなで試し、もっと楽しく遊んでもらえるようにアドバイスをしよう

的の数字をもっと大きくした方が見やすくていいよ。

的までの距離を、学年によって変えると、どの学年も楽しめるね。

一緒に作るコーナーがあるのはいいね。僕たちもやってみよう。

ゴムをもっとたくさんつけると速く走らなう。やってみよう。

説明の仕方が詳しくて、よくわかったよ。

もっと楽しく遊んでもらえるように、おもちゃを改良し、遊び方やルールを工夫しよう

的の数字をもっと大きくしよう。

ゴムの数を変えて作りなおそう。

的までの距離を、学年によってかえよう。

おもちゃが完成したよ。他の準備もしない。

早くみんなに遊んでもらいたいな。

ルールを説明する紙が必要だね。分かりやすく説明しないと1年生が楽しく遊べないよ。

